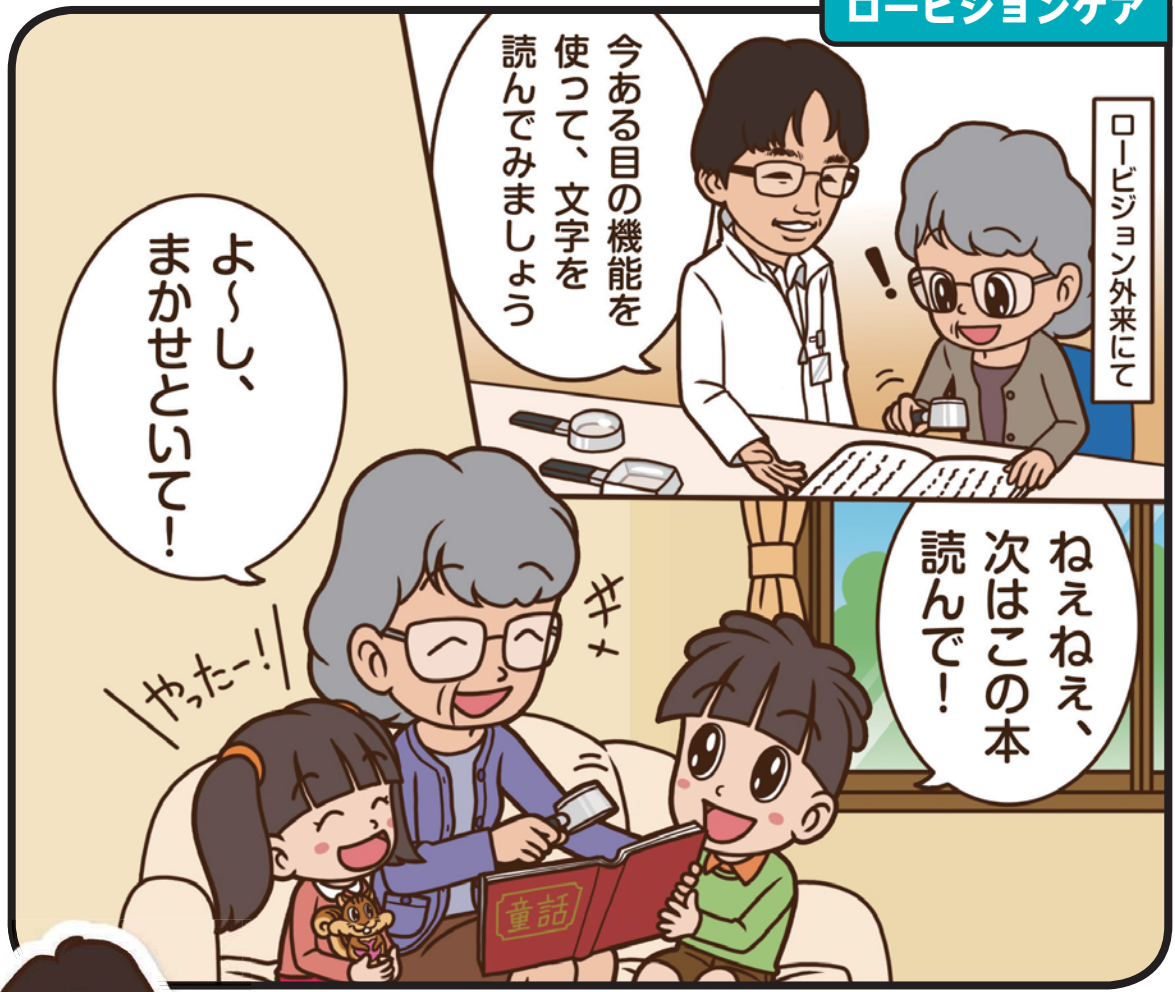


特集 目の症状は早めにご相談を…

ロービジョンと向き合って豊かな暮らしを！

定期的に眼科検診を受けて
早期に発見・治療を
行うことが大切です。

目の症状は 特集
早めにご相談を…

ロービジョンと向き合って豊かな暮らしを！

アイセンターがお手伝いをしています

洛和会音羽病院 アイセンター
部長 中村 精吾（なかむら せいご）

ロービジョン Low Vision とは？

病気やけがなどのために眼科治療を行ったが、十分な視力が出ない、視野が狭くなるなどの状態のこと（弱視）

※WHO世界保健機関では良い方の目の矯正視力が0.05以上0.3未満と定義されています。

文字がぼやけて見える、視野が狭くなった、中心が見えにくい…など日常的に困難を感じている方は現在数百万人いると言われています。その原因は緑内障や白内障など年齢とともに増える疾患から先天性のものまでさまざまです。治療しても、失われた視覚機能（ものを見る機能）の回復が見込めない患者さまの視覚機能を最大限に活用するため、患者さまの心に寄り添い、最善の方法を見つける。それが**ロービジョンケア**です。

ロービジョンによる日常の読み書きや行動の不自由さを軽減

ロービジョン外来でサポート

ロービジョンケアとは、病気やけがが原因で視覚機能が低下し、日常的に困難が生じている場合に受けられるケアです。治療後、視覚機能の回復が見込めず、大好きな本が読みづらくなった、視野が狭くなって出掛けるのがおっくうになった…など、やりたいことをあきらめて生活している方はたくさんおられます。ロービジョン外来では残された視覚機能を最大限に生かし、少しでもQOL（生活の質）を上げられるようお手伝いします。当センターでは毎週金曜日の午後にロービジョン外来を行っています。

どうしたら受診できるの？

まずは当院のアイセンター外来を受診し、医師にご相談ください。

ロービジョン外来を受診するまでの流れ

まずはアイセンターの外来へ

① 当院アイセンターの外来を受診ください

② 検査（状態確認）
視力、眼圧検査、眼底検査、視野検査など一般的な検査をします。

③ 検査を受けて、次にロービジョン外来受診

当院で治療を受けられた患者さまには治療後、ロービジョンケアについてご紹介しています。

ロービジョンケア 具体的には…

心のケア

今までできていたことができなくなったことへの不安やいらいらを募らせている患者さまも多くおられます。まずはじっくりとお話を聞き、患者さまのやりたいことを実現する方法を一緒に考えます。

補助具で視覚機能をサポート

視覚機能を補うための補助具が必要な患者さまには遮光メガネや拡大鏡などのご提案もします。もちろん使い方の説明や訓練も行います。

↑ 拡大鏡(LEDワイドライトルーペ)で文字が大きく見える

どんな器具があるの?

下記以外にも状態にあわせた機器をご用意しています。ロービジョン外来では提携会社と共同して患者さまをサポートします。

かかりつけ医を持ちましょう

少しでも多く視覚機能を残し、QOL(生活の質)の低下を防ぐには、定期的に眼科検診を受けて早期に発見・治療を行うことが大切です。

こんな器具があります

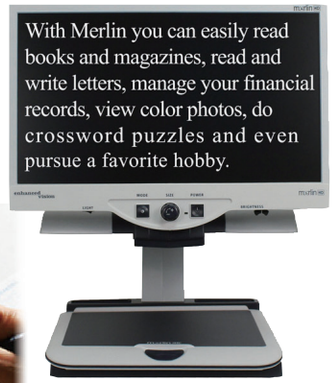
【ロービジョン機器の一例】

▲ 拡大鏡
(LEDワイドライトルーペ)

▼ 遮光眼鏡
(遮光レンズ)

▼ 携帯型の拡大読書器
(ルビーHD 4.3インチ)

▼ 据置型の拡大読書器(MerlinHD)



歩行困難な方には…

白杖を使った歩行訓練などを行える、社会福祉法人 京都ライトハウスへのご紹介もします。

京都ライトハウス▼ 視覚に障害のあるすべての人が、個人として尊重され、その人らしい自立した生活を営むことができるようにサポートをする総合福祉施設

今回お話を聞いたのは…

洛和会音羽病院 アイセンター
部長 中村 精吾(なかむら せいご)

お問い合わせ

洛和会音羽病院アイセンター
☎075(593)4111(代)

http://www.rakuwa.or.jp/otowa/shinryoka/eye/shikkan.html

受診されるときは、かかりつけ医の紹介状をお持ちのうえ、まずはお電話ください。